

事務事業名		地域学校協働本部事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																								
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																								
	施策名	10 学校教育の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款																							
	基本事業名	05 地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 R3 年度～)		01	10																							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		04	01																							
所属	部課名	協働まちづくり部生涯学習課		※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分																								
	課長名	山岸 健悦郎				A 政策事業 B 施設整備																								
	係名	生涯学習係	電話			0192-27-3111	C 施設管理 D 補助金等																							
	担当者	松田 ほのか	内線			277	E 一般(A～D以外)																							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
<p>・スクールガード配置事業、学校支援地域本部事業、運営委員会の開催。希望する市内各小中学校にスクールガードを配置し、登下校時の児童生徒の安全確保と、地域コーディネーター及び地域ボランティアを配置し、学校支援活動を行う。</p> <p>・主な業務は、スクールガード、地域コーディネーター、地域ボランティアの配置、活動実績報告の受付と謝金の支払、配置校との連絡調整。事業評価のための運営委員会を開催。補助金の申請業務。</p> <p>・事業費はスクールガード、地域コーディネーター、地域ボランティアへの謝金、学校支援活動のための消耗品購入費、スクールガード等の傷害保険料となる。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		事業費計(A)		0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
	事業費計(A)		0																											
	人件費	正規職員従事人数																												
		延べ業務時間																												
人件費計(B)		0																												
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

スクールガード、地域コーディネーター及び地域ボランティアの配置、評価運営委員会の開催

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

スクールガード、地域コーディネーター、地域ボランティア配置、評価運営委員会の開催

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

学校教育を支える地域住民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるよう支援してもらう。
学校教育活動の課題が緩和・解消するよう支援してもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

地域・学校が一体となり児童生徒の学習環境が向上する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア スクールガード配置校数	校
イ 学校支援活動実施校数	校
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ スクールガード配置人数	人
キ 地域コーディネーター配置人数	人
ク 地域ボランティア配置人数	人

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ スクールガード活動時間	時間
シ 地域コーディネーター活動時間	時間
ス 地域ボランティア活動時間	時間

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円	10,625	4,386	7,806	7,806	6,627	6,627
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		2,194	3,903	3,903	3,314	3,314
	事業費計(A)	千円	10,625	6,580	11,709	11,709	9,941	9,941
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	432	600	600	600	600	600
	人件費計(B)	千円	1,728	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,353	8,980	14,109	14,109	12,341	12,341
⑤活動指標	ア 校		12	11	11	11	11	11
	イ 校		12	10	15	15	15	15
	ウ							
⑥対象指標	カ 人		35	31	34	34	34	34
	キ 人		3	1	15	15	15	15
	ク 人		9	9	12	12	12	12
⑦成果指標	サ 時間		8,015	6,862	7,480	7,480	7,480	7,480
	シ 時間		2	24	4,200	4,200	4,200	4,200
	ス 時間		1,962	1,368	1,920	1,920	1,920	1,920

事務事業ID	1505	事務事業名	地域学校協働本部事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
被災者支援総合交付金の終了により、令和2年度で「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」が終了したことから、令和3年度から、「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用して実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
震災により街灯やガードレールが減り、通学路が変更になった児童生徒の登下校時の安全を確保するため実施された。現在は街灯、ガードレール等の問題は解消されつつあるが、新しい道路の開通に伴う交通状況の変化や、熊の出没が危惧されるなど、通学路に危険が伴う地域があるため、登下校時の安全監視の必要性は変わらない。
令和4年度からのコミュニティスクールの導入を見据え、各小中学校にコーディネーターの配置が必要となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
スクールガード、図書ボランティアを配置した学校からは、次年度以降も是非継続してほしいとの声が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 地域、学校が一体となって児童生徒の学習、読書の環境整備が図られ、生涯学習の推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 通学路での安全確保や教育活動に地域住民を支援員として配置し学習支援を行うことは、児童生徒の学習環境整備を図るとともに、地域コミュニティの連携につながることであり、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市内の小中学校が対象であり、対象は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ スクールガード、地域コーディネーター、地域ボランティアの増員により成果の向上が期待できるが、人材確保が課題となっており、事業の周知により活動への理解を得る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 登下校時の児童生徒の安全監視がなくなることで、通学路における安全が確保できなくなり、影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費のほとんどがスクールガード及び地域ボランティアへの謝金である。人材確保が困難な状況で事業費の削減の余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 実質1名の職員により事務作業を行っており、これ以上の大幅な業務所要時間の削減は見込めない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業の対象が小中学校及び児童生徒であり、公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	事故等の発生はなかったが、声掛け案件が数件発生し、スクールガードの見守りだけでは対処しきれない事態があった。 地域住民がスクールガードとして活動し、児童生徒との交流が生まれ、地域コミュニティ強化の一助となったことから、事業を継続しながら人材確保に努める必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	スクールガードだけでは対処しきれない事態については、地域との連携した対応が必要である。 令和4年度はコミュニティ・スクール導入に伴い、地域コーディネーターが増員となることから、教育振興運動を統合して実施する等、円滑に事業が進められるよう、運営方法の再検討が必要である。																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	地域ぐるみで子どもたちを育成する観点から、現状の事業を継続する必要があるが、子ども達の見守りについては、スクールガード以外の手法で地域との連携を模索する等、内容の更なる検討が必要である。 令和4年度からの地域コーディネーターの全校配置に伴い、教育振興運動を一体的に実施する等、地域と学校の連携をより深めていく方策を模索する必要がある。